

## 会議録

会議の名称	西東京市立学校給食運営審議会（第1回）
開催日時	令和元年10月21日（月）午後2時30分から午後4時25分
開催場所	谷戸小学校 ランチルーム
出席者	（委員）高野会長、新出委員、久山委員・石井委員・高橋委員・伊藤委員・上田委員・佐々木委員・高見澤委員・高橋委員・伊藤委員・戸城委員・山崎委員・喜多見委員・笹月委員 （欠席）中村副会長 （事務局）渡部教育部長・大谷学校運営課長・近藤・越川
議題等	<議題> 1 会長及び副会長の互選等について 2 学校給食について 3 その他
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育部長より委嘱状及び任命書交付</li> <li>・教育部長挨拶</li> <li>・委員自己紹介</li> <li>・事務局自己紹介</li> </ul> <p style="margin-left: 40px;">出席委員14名（委員遅参1名により、最終人数は15名）、委員数16名で過半数に達しているため、本審議会の成立を確認</p> <p>議題1 会長及び副会長の選出等について</p> <p>(1) 会長及び副会長選出 西東京市立学校給食運営審議会条例第5条第2項に基づき、委員より会長及び副会長を選出 会長については、仮座長より学識経験者の高野委員の推薦を受け、出席委員全員の同意により選出された。 副会長については、会長より学校長代表の中村委員の推薦を受け、出席委員全員の同意により選出された。</p> <p>(2) 西東京市立学校給食運営審議会会議録について 西東京市立学校給食運営審議会条例施行規則第4条及び西東京市市民参加条例施行規則第4条に基づき、会議録の作成、会議録の作成方法について確認。 出席委員全員の同意により、発言者の発言内容ごとの要点記録とすることとした。</p> <p>(3) 西東京市立学校給食運営審議会の傍聴について 西東京市立学校給食運営審議会傍聴要領第2の規定により、会議会場の広さ等を勘案し、出席委員全員の同意により傍聴人の定員を5名と決定した。</p> <p>(4) 西東京市の学校給食の概要</p>	

事務局より、学校給食についての概要について説明を行った。

## 議題2 学校給食について

- 会長 各委員の学校給食に対する思いや意見などを確認しておきたい。私としては、学校給食はなくてはならないものだと考えている。親子給食は小中ともに苦労が多いと感じるが、続けていかなければいけないということで、関わる皆が知恵を出し合っていてやっている。校長として勤めていた際は、給食費の未納にも頭を悩ませることもあったが、栄養士や職員が保護者へ様々な資料を出して説明をしてくれ、力を出し合っていて、滞りなく給食を出してきたという経験がある。これからも学校給食は継続されるべきと思っている。
- 委員 ひばり中では今後自校式給食が始まるということで、楽しみにしている。PTA会議でも、給食のことを学ぶ機会があり、その際に栄養士から学校の取り組みを聞くと、本当に感心することばかりで驚く。ほかの保護者とも、「そこまで考えてくれているのか」という話をしている。栄養面や調理だけでなく、献立から季節を感じるということも教えられている。家庭では様々な工夫しているつもりでも、子どもの好き嫌いで食べてくれないこともあり、栄養が偏ってしまうと感じるが、中学校では、「うちの子どもが、そのような料理を食べることができたのか」と驚いてしまうくらい、バランス良く食べている。学校で食育を学んでいるが、委員会の取り組みで、給食時間が短くても、配膳を手早く行い、食べる時間をいかに長くするかといったことを考える活動をしていると聞いて、子どもが自ら考えて活動するという機会を、学校給食が与えてくれているなど感じる。ただ、保護者と話していると、「子どもが給食をおいしくないと言っている」ということを聞くことがあり、残念だと感じる。給食はおいしい、おいしくないという判断だけでなく、そこにどういう教育的意味があるのかを保護者が知れば、きっととても恩恵に預かっていることに気付くと思う。そういったことを知っていけば、自分の子育ての中で安心できる材料になると思うので、もっとほかの保護者の方を知ってほしいと思う。審議会委員として、給食の取組みについて、私自身も発信していけたらと考えている。
- 委員 私には中学生と小学生の子どもがいる。上の子は、給食を「おいしい」と言って良く食べるが、下の子は、保育園の時から苦手なものが多く、給食が一番の心配ごとである。私が働いているので、夏休みで給食がない時期は子どもの栄養面がとても心配になってしまうくらい、給食をありがたく思っている。メニューも季節感のあるものになっていて、普段家庭では忘れてしまいがちな行事を思い出したり、家庭でもイベントごとをやるきっかけにもなっている。魚も野菜も家ではまったく食べないので、給食が無いと本当に困るなど感じる。この審議会で様々なことを勉強させてもらいたい。
- 委員 中学生1人と小学生3人の子どもがいるが、一番上の子どもは、中学校に入学するときに、弁当を選択できるということを知り、「お母さんのお弁当を食べたい」ということで、学校の給食がおいしくない、嫌だ、ということではなく、単純に、弁当を親の愛情と感じてくれていて、娘の思いを尊重して弁当を選択している。ただ、下の子どもたちが給食の話をしていると、親子給食なので中学校でも同じメニューが出ているのを見ていることもあり、食べてはいないけれど話せることがありがたいと感じる。親子給食は、ほかの形式の給食と比べると、とても手間がかかっている、大変という話は、親子給食運営協議会でも伺ったが、家庭での会話の一部として給食があり、また献立も参考になるので、この審議会で色々話す中で、家庭や育児に生かせればと考えている。力になれるよう、発言していきたい。
- 委員 本日説明を受けた内容の中だけでも、今まで知らなかったことが多くあった。子どもは6年生の男児だが、いつもまず帰ってきた子どもに聞くのは給食のことで、自分もそうだったが、給食は大人になっても思い出に残るものなので、これからも日

本の文化として変わってほしくない部分であると感じる。子どもの記憶に残るような給食をこれからも出してほしいし、我々もそのために何かできることがあれば発信していきたい。

- 委員 今、私は保育園で栄養士をしているが、小中学校の給食の経験もある。私は子どもが2人おり、給食に対しても思いがあるので、この審議会で知識を得ながら、子供たちにおいしい給食を提供できるようにしたい。自分自身は芝久保小を卒業しており、給食の思い出が何年経っても思い出される。給食は学校教育の中でも重要なものだと思うので、そういったことを意識してこの審議会に臨みたい。
- 委員 私は子どもが3人おり、小・中学生と高校生がいる。昨年 PTA の活動でも、アスリートに食事についてをテーマに、話を聞いたことがあるが、私は保護者の立場としてこの審議会に参加して、学んだことを他の保護者や子供たちに発信するということが、自分が貢献できることだと思う。
- 委員 ここまで説明を受けて、驚くことばかりであった。安全面もとても考えられていて、安心して給食が食べられるようになっていて感じた。学校での試食会でも、出汁を利かせて薄味でもおいしく感じるように工夫されていて、ありがたい。この審議会に少しでも貢献していけるようにしたい。
- 委員 小学校の栄養士として、中学校にも給食を出している。毎食 1,000 食弱の量を、先に中学校給食を調理して、小学校給食を調理しているという状況である。調理員も朝早くから下処理等をしてきている。審議会のように色々な方の意見を伺う機会は、学校では実は多くはなく、保護者の方も協力的でご理解のある方が多いので問い合わせも少ない印象で、意見をいただく機会は試食会程度しかない。こういう場はとても貴重でありありがたいので、ここで伺った意見を今後の給食に活かしていきたいと考えている。
- 委員 私も中学校に給食を出している小学校で栄養士をしている。今後ひばりが丘中学校の移転等もあり、それに関連した自校の様々な調整もしているところである。各学校でアレルギー対応をしている人数や重症度が違うと思うが、アレルギー対応については、しっかりと面談で確認しながら慎重に行っている。近年は、給食で食べた食材により、新規に食物アレルギーを発症する児童生徒が増えているという課題があり、急に発症した際にどう対応していくかを、学校内でも教員と一緒にシミュレーションしている。救急搬送も経験があるが、除去する対象でない食物を食べて発症してしまい、病院に行ってもすぐには原因がわからないということがあった。そういった際にどうしていくかということを常に考える必要がある。防ぐことと、起こったときにどうするかということと同時に考えなければならないのが現状だ。中学校では除去食提供がないため、中学生の年齢で新規に発症しやすい食材の使用について、中学校からも相談されるが、子どもに食経験を積ませるという意味では、特定の食材を全く使用しないというのはどうなのか、難しい部分であると感じる。この審議会でも様々なことを伺いながら、より良い給食にしていけたらと思う。
- 委員 中学校で教諭をしている。昨年度異動で西東京市に来たが、その前の学校では、給食が「弁当外注方式」であった。汁物はなし、おかずは冷たいものだった。異動が決まり、給食が出るということで、配膳をどの程度スピーディーに生徒たちができるのか疑問ではあった。実際に指導してみて、配膳に関してはかなり大変だと感じた。体育の授業の後だと、着替えもあるので、配膳の時間が短く、手伝いをすることもあるが、生徒の様子を見てみると、喜んで食べているし、食べ残しもほとんどない。アレルギー対応については、私の担当しているクラスにも何名か対象生徒がいるが、栄養士が毎月詳細献立をクラス用に出してくれ、本人とも毎日確認してから食べてもらうようにしている。弁当の生徒もいるが、保護者がかなり工夫して調理をし、その日の給食の献立に合わせた弁当を持ってくるということもある。今後、中学校でのアレルギー対応が変わっていくと思うが、保護者の反応が気になるところだ。保護

者、栄養士のお話を伺う機会は普段ないので、この機会を有効に活用していきたい。

- 委員 学級担任をしていて、給食はとてもエネルギーがいる時間だと感じる。まず、配膳では、特に小学校1年生では食器を割ったりなどもあり、とてもヒヤヒヤする。食物アレルギーも多く、エピペンを持つ重篤な児童もいたり、給食後の時間も気の抜けない状況である。また偏食気味の児童も多く、昔に比べるとかなりおいしい給食だと感じるが、手を付けずに食べることを止めてしまうということもある。そういう子にどうやって一口でも食べてもらうかを考えることは、大変だとは感じるが、給食はクラスと一緒に同じ給食を食べるという大切な時間でもあると感じている。
- 委員 西東京市での勤務が今年で20年目であり、管理職としては2年目である。管理職は、生徒が喫食する1時間前に「検食」をするが、3年前は担任としてクラスで生徒と一緒に食べていた。給食の時間は楽しいものであってほしいと思うし、皆が給食について思い出の一つや二つは持っているものであると思う。他の委員からも話があったように、楽しく食べてほしいと思う反面、給食は本当に様々なことを考える必要がある。エプロンの付け方から、汁物などの注ぎかたの配分、食べ始めると、食事中的話題についてやおかわりで人に気を遣えるか、など色々なことがあり、給食の姿を見ているだけでもその生徒の家庭での様子が垣間見えるようである。今は孤食が増えている中で、給食は皆で食事ができるとても良い機会であるので、より良い給食にしていくために審議会で様々な話ができたらと思っている。
- 委員 保護者や教員のお話を聞いて、「生きた教材」として給食を扱ってくれていることを感じ、うれしく思う。日本人の食生活を健全に営むための食生活指針というものがあるが、その指針の一番は「食事を楽しむ」ということ。学校では多くの楽しい教科があるが、給食も楽しんで食べてほしい。その楽しむことを通して、様々なことを学んでもらい、子どもたちの健やかな成長を育む手伝いができる場の一つになっている。科学の面で言えば、先ほどアレルギーの話も出たが、日本人の子ども達の中でもいろいろな面が昔と変わってきている状況である。基本的な食べることについて、委員の皆様との話し合いの中で、最新のエビデンスも含めて情報を知っていただく手伝いができたらと考えている。
- 委員 私も家で料理をするが、小学生と中学生の子どものうち、上の子は好き嫌いが激しくて食わず嫌いが多く、見ただけで食べないということもある。無理やり食べさせようとすることもあるが、それは子どもにとっては苦しい時間なのかなと思うこともある。何とか食べられるように、見えないように細かくして混ぜ込んでみたりなど工夫をしているが、給食では周りの目を気にしてか食べているようだ。ここでは、食育の面でもプロや、献立を立てている方もいるので、いろいろと伺って学びを得たいと思っている。
- 会長 一人ひとりの給食に対する思いが述べられたと思う。学校給食に関して、この審議会は、教育委員会へ意見を述べたり、諮問されたら答申をしていくというような会議であるので、これからも積極的に意見を述べてほしい。

最後に、事務局に質問だが、このような場で大人の意見は聞くことができるが、子ども達には意見を聞くことができるのか。以前、中学生に学校給食の意見を聞くアンケートをしていたと思うが、現在はやっているのか。また今後も実施は可能なのか。
- 事務局 中学生へのアンケートは行っている。過去、中学校給食が円滑に進んでいるのか、実際に食べている中学生の意見を聞いた方がよいとの意見が審議会であり、全中学生へアンケートを行った。初回が平成24年、二回目が平成27年、直近が平成29年である。今後も実施することは可能である。
- 会長 可能であれば、私たちの任期の二年以内でまた実施してほしい。
- 事務局 中学校とも実施日を調整しながら、皆様の任期中のなるべく早い時期に実施できるようにしていく。実施が決まれば、質問内容などはこの会議でご意見をいただきたいと考えている。

議題3 その他

○会長 その他に意見はあるか。

次回の予定を報告して欲しい。

○事務局 次回は、1月に親子給食の試食を計画したい。詳細は別途通知する。

閉会

○会長 本日の会議を散会する。